

# ピックアップ★

## 共に学び、共に育つ

～ 交流及び共同学習の推進～

### 交流及び共同学習の種類

#### 居住地校交流

特別支援学校に在籍している子どもたちが、住んでいる地域の小・中学校の子どもたちと一緒に活動し、ふれ合います。地域の同年代の子どもたちとの結び付きを深め、将来の生活基盤を整えることにつながります。



#### 学校間交流

小・中学校などと特別支援学校が、行事などを通じて相互に行き来して、学校全体、学年、学級などの単位で交流します。共に協力し合うことでお互いの良さを知り、理解を深める貴重な機会となります。



#### 地域間交流

特別支援学校や小・中学校の特別支援学級に在籍している子どもたちが、地域の人たちと行事などを通じて一緒に活動を行います。子どもたちは、社会の中で生きる力を高め、地域の人たちには障害のある子どもたちへの理解を深めてもらうことが期待できます。



県教育委員会では、障害のある子どもが障害のない子どもや地域の人たちと共に学ぶ「交流及び共同学習」を推進し、共生社会の実現を目指しています。

各学校では、さまざまな取り組みが行われています。

二葉特別支援学校児童  
友達とすごろくをしたり話したりして、とても楽しかったです。

#### 居住地校交流の様子

県立二葉特別支援学校の児童と前橋市立原小学校の児童の交流



新田小学校児童  
・一緒にボウリングが楽しくできました。  
・友達の手伝いができてよかったです。

県立二葉特別支援学校の児童と前橋市立新田小学校の児童の交流



●問い合わせ：特別支援教育課 027-226-4656

# 文化財ライブラリー

Vol. 12

## 県内最古級の鉄筋コンクリート学校建築

国登録有形文化財

### 沼田高校

管理教室棟  
屋内運動場

昭和3（1928）年築  
平成29年6月登録

沼田高校の管理教室棟と屋内運動場は、前身である旧沼田中学校の校舎と講堂として昭和3（1928）年に建てられ、現在も使用されています。

これらの建物は、大正時代に学級増による教室不足から建設が計画され、建設費の半分と敷地を地元が負担して建てられました。



管理教室棟

2つの建物は、県内でも最古級の鉄筋コンクリート造りの学校建築です。管理教室棟の玄関などには、当時フランスで流行した、直線を基調としたアールデコ風の装飾が見られるなど格調高いデザインとなっています。



屋内運動場  
2階内部

## 江戸時代の御殿建築

国登録有形文化財

### 富岡高校

御殿・御殿黒門

天保14（1843）年築  
平成30年11月登録

富岡高校の御殿と御殿黒門は、江戸時代の大名である七日市藩前田家の拠点となる建物として、天保14（1843）年に建てられました。

御殿は藩主の居住や政治を行う場であり、黒門は御殿に最も近い場所にある門



御殿

でした。当時の御殿の建物全てが残ってはいませんが、現存する御殿建築の数は全国的に少なく貴重です。2つの建物は、藩の建物にふさわしい重厚な雰囲気と丁寧で細やかな装飾を持ち、現在でも富岡高校の象徴となっています。



御殿黒門

●問い合わせ：文化財保護課 027-226-4684